

授業科目名(英文名) /Course Title	老年看護論/Gerontological Nursing/Gerontological Nursing		
担当教員(所属)/Instructor	新鞍 真理子(医学部看護学科),青木 頼子(医学部看護学科),牧野 真弓(医学部看護学科)		
授業科目区分/Category			
COC+科目/COC+Course	-	授業種別/Type of class	講義・演習
開講学期期限/Period	2022年度/Academic Year 前期・水曜2限 後期・水曜2限	対象所属/Eligible Faculty	医学部看護学科/School of Medicine Department of Nursing
時間割コード/Registration Code	154620	対象学年/Eligible grade	3年
ナンバリングコード/Numbering Code	1M2-85043-0200	単位数/Credits	2単位
オフィスアワー(自由質問時間) /Office hours	新鞍 真理子(メールにて事前予約をお願いします。), 青木 頼子(事前に連絡先から研究室にお越しください。), 牧野 真弓(原則として、授業・実習等のない曜日と時間は面談可能です。大学のドメインを使ったメールアドレスでアポイントを取るか、平日 12:00~13:00 にお越し下さい。)		
リアルタイム・アドバイス/Real-time advice	更新日		
対面授業が原則ですが、非対面授業が必要になった時には、遠隔授業を行います。遠隔授業の具体的な方法は、Moodleに掲載します。			
授業のねらいとカリキュラム上の位置付け(一般学習目標)/Course Objective			
看護師実務経験を有する教員の指導のもとで、高齢者の健康課題及び生活機能の支障について総合的に理解し、高齢者の看護過程におけるアセスメントの視点、ケアプランの立案、自立支援のための看護技術について学習する。			
達成目標/Course Goals			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 認知症高齢者の気持ちを理解し、適切なケアについて説明できる。</li> <li>2. 加齢に伴う身体的変化を疑似体験することにより、日常生活に必要な配慮や福祉用具の活用及び看護技術の工夫について説明することができる。</li> <li>3. 高齢者のリスクマネジメントについて説明することができる。</li> <li>4. 疾患を持つ高齢者の看護について説明することができる。</li> <li>5. 事例を用いてゴードンの機能的健康パターン及び包括的自立支援プログラムのアセスメント ツールを用いて情報収集することができる。</li> <li>6. 事例を用いてアセスメントを行い必要に応じて修正することができる。</li> <li>7. 事例のアセスメントに基づくケアプランを作成し、必要に応じて修正することができる。</li> </ol>			
授業計画(授業の形式、スケジュール等)/Class schedule			
講義と演習を行う。 第1~4回(講義・演習) 認知機能の障害に対する看護1~4 第5回(講義) 高齢者のリスクマネジメント 第6~7回(講義) 疾患を持つ高齢者の看護1~2 第8~9回(演習) 高齢者疑似体験等(外部演習) 第10~11回(講義・演習) 事例展開1: 事例紹介、総合的機能評価 第12~15回 事例展開(講義・演習) 2~3: アセスメント作成(個人ワーク) 第16~19回 事例展開(演習) 4~5: アセスメント作成(グループワーク) 第20~23回 事例展開6~7(演習): ケアプラン作成(グループワーク)			
授業時間外学修(事前・事後学修)/Independent Study Outside of Class			
事前学修・・・教科書の各回の授業内容に該当する箇所をよく読み疑問点をメモする。(5時間以上)。外部施設で行う高齢者疑似体験の準備のためのレポートを作成する(3時間以上)。 事後学修・・・①看護過程の展開は、多くの時間外学習が必要である。個人ワークでは各自で情報収集からアセスメント、看護課題の抽出までを行う(20時間以上)。グループワークでは、グループメンバーと時間調整しながら、他者の意見を傾聴し自己の思考を考え直したり深めたりする機会とする(15時間以上)。②外部施設で行う高齢者疑似体験では、体験後のレポート作成を課す(3時間以上)。			
キーワード/Keywords			
高齢者アセスメント, 高齢者ケアプラン, 自立支援, 認知症ケア, 生活機能, 看護師実務経験教員科目, SDGs 科目			
履修上の注意/Notices			
外部演習は指定された場所と時間に集合すること。提出物の提出期限を厳守すること。グループワークには積極的に関わること。			
教科書・参考書等/Textbooks			
教科書 : 系統看護学講座 専門20 老年看護学 医学書院 2021年 2700円+税(最新版を使う)「老年看護学総論」の教科書を引き続き使用する。 配布資料は、次回分を授業時に配布する。			
参考資料: 配付資料(授業時に配布)・VTR等			
成績評価の方法/Evaluation			
達成目標の成績への寄与率は同等である。 期末試験(50点)とレポート(50点)で評価する。 第1~4回(講義・演習) 認知機能の障害に対する看護1~4: 期末試験25点 第5回(講義) 高齢者のリスクマネジメント: 期末試験10点 第6~7回(講義) 疾患を持つ高齢者の看護1~2: 期末試験15点 第8~9回(演習) 高齢者疑似体験等(外部演習): レポート15点(指定した課題に対応した内容であること) 第10~15回(講義・演習) 事例展開: レポート35点(指定した用紙に必要な内容が記入されていること)			
関連科目/Related course			
老年看護学総論、老年看護学実習、成人・高齢者臨床医学、精神臨床医学			
リンク先 URL/URL of syllabus or other information			
<a href="http://www.med.u-toyama.ac.jp/ger/ug/index.html">http://www.med.u-toyama.ac.jp/ger/ug/index.html</a>			
備考/Notes			